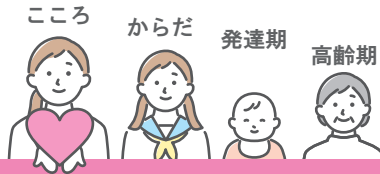


# 作業療法士は「その人らしさ」を支える リハビリテーション専門職！

## 作業療法士の仕事とは？



心身に障がいを持つ方に対して「ココロ」と「からだ」のリハビリテーションを行います。食事や着替えなどの日常生活動作から、家事や仕事・趣味までの日常のあらゆる生活を通じて、からだの回復や精神状態の改善を図り、患者さまが“その人らしく”イキイキと生活を送れるようサポートします。

人の役に立つ  
仕事がしたい

患者さまの生き  
がいを見つける  
手伝いができる

患者さまの社会  
復帰の手助けが  
できる



## Check! /

### 理学療法士と作業療法士の違いは？

	理学療法士	作業療法士
運動機能回復のスペシャリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平行棒を使った歩行練習</li> <li>● ベッドから起き上がる練習</li> <li>● 筋肉や関節を動かす運動療法</li> <li>● 電気刺激を使った物理療法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療施設</li> <li>● 介護老人保健施設</li> <li>● 地域の保健センター</li> <li>● 児童福祉施設</li> <li>● 身体障がい者療養施設</li> </ul>
生きがい支援のスペシャリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食事・入浴・着替え・料理の練習</li> <li>● 外出・買い物の練習</li> <li>● 地域コミュニティへの参加の援助</li> <li>● 就労援助</li> <li>● 自助具を使用して趣味を楽しむ援助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療施設</li> <li>● 福祉施設</li> <li>● 公務員</li> <li>● 放課後等デイサービス</li> <li>● 児童発達支援センター</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市・区役所</li> <li>● 教育・研究機関</li> <li>● スポーツ関連事業</li> <li>● 福祉機器関連事業</li> <li>● 在宅系介護サービス事業</li> <li>● NPO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当別支援教育</li> <li>● 教育・研究機関</li> <li>● 在宅系介護サービス事業</li> <li>● 福祉機器関連事業</li> <li>● 就労支援事業</li> <li>● 住宅関連事業</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身体機能</li> <li>● 運動能力</li> <li>● 生活活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就労・就職活動</li> <li>● 趣味・余暇活動</li> </ul>

※色がついているのは本学独自プログラム履修による就職先

## 〈実務家教員〉野口先生に聞く！作業療法士の魅力とは？



保育園の巡回相談員として活動。障害の有無に関わらず、子どもたちが自分らしく持っている力を発揮し、仲間と楽しく園生活に参加できることを目標に保育士(保護者)と協働を意識したコンサルテーションを行う。

巡回相談の対象となる子どもは、発達障害や知的障害の診断を受けている子どもから、未診断の「気になるこども」まで幅広いです。つまり、保育所の集団生活の中で、お友達との関わり方や身辺自立(食事や遊び、衣服の着脱、トイレなど生活の基本的な動作)のつまづきについて保育士が心配している子ども達です。

これまでの事例として他の園児を突き飛ばしたり、ブロックもすぐに壊してしまうなど他の園児とトラブルが多いAくんがいました。Aくんはお友達と一緒に遊ぶのが好きですが、力加減が難しい様子でした。私は保育士と話し合い、綱引き遊びのように力をいっぱい使う遊びを取り入れてもらいました。その後力の調節が必要な制作活動を行うと比較的、落ち着いて取り組めていました。

保育士は多くの子どもの育ちを支援しながらも、集団生活の中で不安のある子どもたちと熱心に向き合っており、私たち作業療法士は、身体やこころの発達や環境調整の視点を持ち、保育士が現実的で継続的にいける支援を提案しています。

このように一人ずつ違う特性を推測しアドバイスを提案し、子どもの「できた」が積み重なる様子を見るたび、私は作業療法士としての大きな魅力を感じます。

